

# 青空会ニュース

〔第239号〕

2021年01月10日発行

昨年はコロナ禍のため、例会、撮影会、ボランティア活動等従来の会活動が出来ませんでしたが、本年も益々感染拡大の年明け、2月末に予定されている第19回写真展も開催が危惧されます。

世界的な状況とはいえ、日本いや自分は大丈夫との安易な考えが、この状態を生み出したと我々は反省、自覚し、なおさら自粛し(高齢者は特に)、この冬の終わり頃には収束、終息を期待して明るい春を待ちましょう！

## あけましておめでとうございます

会員皆様方によき年でありますように

「写真を撮る」従来写真は個人的な時間、現実を記録として、思い出、検証のために残す媒体、行為でしたが、デジタル化が進み、メール、インスタ、Twitter、Face Book、Line等により多数の人に見せて、写真を共有する形態、「所有」から「共有」に大きく変化しています。

青空会ニュースもカメラ、加工ソフトの進歩、デジタルメディアの進化に伴い、検討すべき時期になりました。HP(ホームページ)の活用により鮮明な写真を公開出来るようになりましたので、写真紹介はHP上に掲載しますので、青空会ニュース第239号では写真掲載を中止といたしました。

HPの活性化を図るため、会員皆様の積極的な写真投稿と定期的な閲覧をお願いいたします。  
ホームレスでなく、ホームがありますので賑やかなページにしましょう！

### 余談

銀板写真が発明されたのは、1839年その4年後の1843年には日本最初の写真機材が持ち込まれています。私達(?)が生まれる約100年前です。ちなみに1840年頃には大隈重信、渋澤栄一が生まれ、その前には幕末の志士、約10年後には乃木希典陸軍大将、東郷平八郎海軍大将(元帥)が生まれています。この時代を作った英雄の写真はありますが、なぜか明治10年(1877年)まで存命だった西郷隆盛の写真は1枚もなく、肖像画のみです。

(中田記)